

ひきこもり支援講演会 in 越前町

ひきこもりは誰にでも起こりうる

入場  
無料

人権啓発DVD

第一部

# 「カンパニユラの夢」上演会



宮地真緒

六角精児

山田レイ53世

超高齢化社会とひきこもり  
(8050問題)の現状を考える

近年、主に「80代」の高齢の親が「50代」のひきこもりが長期化した子を支えている家族が増加しています。「8050問題」とは、こうした家族が地域社会との接点を失い、親子ともども生活が困窮するなどの課題を抱え、将来への展望が見いだせない超高齢化社会における新たな社会問題のことです。

背景、には、家族や本人の病気、親の介護、離職（リストラ）、経済的困窮、人間関係など、複合的な課題を抱えながらも、親子共倒れの問題が発生するまでSOSの声を上げることができない、現在の超高齢化社会における「家族の孤立」が地域に潜在化していることがあります。

【ストーリー】

20年以上ひきこもり状態にある男性とその両親は問題が長期化する中で、解決の糸口すら見いだせないまま苦悩しています。そんな中、近所に住む女子高生があることをきっかけに「ひきこもり」は誰にでも起こり得ることだと気づきます。そして、男性とその家族の抱える問題に寄り添い、解決策を求め行動を起こします。

急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることを認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす内容となっています。

第二部

## 「フリースペースいっぽ」からの

【講演会】

## 再スタート(安心～自信～希望)

人はなぜ、ひきこもるのか、ひきこもりは決して悪いわけではない。  
人はなぜ、自分の居場所を求めるのか。  
15年間のひきこもり支援を皆様に報告します。

特定非営利活動法人えちぜん青少年自立援助センター  
KHJ全国ひきこもり家族会連合会  
福井県ひきこもり支援専門チーム ひきこもり支援アドバイザー

福井いっぽの会

代表 題佛臣一

フリースペースいっぽ

代表 西出厚子

場所

社会福祉センター(1階多目的ホール) 越前町西田中8-20-1

日時

令和4年3月26日(土) 14:00~15:30

コロナ禍により、マスク着用、消毒をお願いします。

主催：特定非営利活動法人えちぜん青少年自立援助センター

共催：NPO泰澄大師の里メェメェヒルズ

KHJ全国ひきこもり家族会連合会 福井いっぽの会

連絡先：西出(090-3885-1233) 長谷川(080-1964-3305)